創造の調

北海道札幌西高等学校
７３期　学 年 通 信
2020.4.24

休校期間も折り返し地点です！

４月８日に入学式を終え、翌日から課題確認テスト、学びみらいＰＡＳＳとテストが続きました。ＬＨＲでは各クラスで自己紹介や役員決め、生徒会や図書館のオリエンテーション、また新入生歓迎会に代わって学年集会が行われました。１３日の月曜日にはやっと、通常の授業が２時間スタートしたばかりでしたが、北海道と札幌市の合同緊急事態宣言を受け、１４日から一斉休業の措置が取られました。

昨日（４月２３日）の北海道新聞朝刊では、「休校　広がる学習格差」というカット見出しに「新型コロナ」「私立、ネットで」「公立は紙中心」という主見出しの学習機会の格差について記事が掲載されました。

既に学校ＨＰでお知らせしているとおり、授業の遅れを取り戻すために、西高では夏季休業期間の短縮で５日分、運動会の中止で１日分、また、冬期休業期間の短縮や土曜授業、西高祭の実施方法なども検討しながら、例年と同程度の授業時数を確保し、教育の質は落とさないようにします。

さて、「紙中心の課題」ですが、進捗状況は如何でしょうか。合格したらすぐに「春休みの課題」があり、ほとんど授業もないのにさらに「休校中の課題」が出され、自宅で一人で課題をこなすことは大変で、心が折れそうになりますよね。日本経済新聞によると国際プロサッカー選手会は２０日「世界中のプロリーグが中断する中、うつ症状を訴える選手が急増している」との調査結果を発表しました。また、「日本でも人とのコミュニケーションが不足し孤独感やストレスを感じる人が出てきている。社会的な孤立は心疾患や発作のリスク上昇に関連があるとも言われており、メンタルヘルスケアは大切な問題だ」と報じています。

誰もが経験したことのない事態に、不安な気持ちになり、やる気が出ないのも当たり前で仕方のないことです。そんな時は、クラスや中学校時代の友達と LINE したり、または西高に直接電話をかけて先生たちとお話することも可能です。電話はちょっと…と思うなら、ＨＰの１年生用アドレスに教科の質問以外でも、相談メールを送って構いませんよ！

さあ、休校期間もあと半分の折り返し地点です！こんな時は松岡修造さんのＨＰの「みんなを本気で元気にするメッセージ」でも読んで、自分のやる気スイッチを入れてくださいね。５月７日の再会を願っています。

自分の未来について考えよう！

先日の学年集会で「西高合格はゴールではない」と伝えました。それと同様「大学合格もゴールではない」のです。せっかく大学に入学しても、４年間で主体的に専門的な学習や研究もせず、「卒業に必要な単位さえ取れば良い」などと大学を「就職のための予備校」だと勘違いしている人もいます。一流企業に就職することだけがゴールになって「その会社で何をしたいか」という夢や目標がないのです。自分の将来について真剣に考えてこなかった人は、どんな企業に就職しても、その後の目標を見いだせず挫折してしまいます。

みなさんは今、変化の時代の真っただ中にいます。これまでの成功則や失敗則があてにならない時代であり、自分の人生を誰かが導いてくれることを期待できない世の中ともいえます。だからこそ、自分の頭で考えながら、その時点でベストと思われる「選択」を積み重ねることが、納得のいく人生を形作っていくことになります。ほんの少しでいいから、５年後に自分は何をしていたいか、１０年後はどんなふうに過ごしているのか考える機会をこの連休中にでも是非作って下さい。